

## 第56回通常総会及び令和6年度優秀従業員定例表彰 開催

6月11日、第56回通常総会及び令和6年度優秀従業員定例表彰を開催。総会では、事業報告及び決算の承認、役員を選任、常勤理事の年間報酬総額の決定等の議案について審議が行われ、全議案承認されました。

その後、理事会を経て、令和6年度優秀従業員定例表彰を挙行。会員企業から推薦された67氏（52社）が表彰されました。



第56回通常総会	2
令和6年度（第57期）事業計画	3
新役員等名簿	4
令和6年度優秀従業員定例表彰	5

## 会員企業トップにインタビュー〈37〉西田製函株式会社 ..... 6 ニーズの本質を捉え、顧客要望の上をいく提案を心掛け、より良いものを一緒に作る



第37回目は、今般、親から子へバトンを繋ぎ、更なる飛躍を目指して顧客と一緒に製品づくりへの挑戦を続ける西田製函株式会社の齊藤 妙子 代表取締役社長（現・取締役）と齊藤 旭生 専務取締役（現・代表取締役社長）にお話を伺いました。

◀（左から）齊藤妙子代表取締役社長、齊藤旭生専務取締役（取材当時）

### 事業活動報告

白鷺クラブ ..... 7~8

- 定期総会
- 青森県産業視察

業務革新研究会 ..... 9

- 生産保全研究会
- 品質革新研究会

京都高等技術・経営学院  
電子システム研究科・メカトロニクス研究科開講式 ... 9

### 予告

サイバーセキュリティ対策セミナー 2024 ..... 9

外国人材活用に向けた2つの事業 ..... 11

叙勲の栄 ..... 12

ゴルフ同好会（KIG）だより ..... 12

新入会員ご紹介 ..... 12

京都工業クラブ ..... 8

- 「2050年カーボンニュートラル  
現実の壁を越えて夢の実現へ  
～都市ガス業界からのアプローチ～」
- 「医工農のためのものづくり技術と  
実用化を目指すマイクロデバイス」
- 「モノづくり企業における生成AIの利活用」

### シリーズ 魅力ある職場づくり～会員企業の取組紹介～

（その⑤）

株式会社日進PREVO ..... 10~11

令和5年度会員意見調査によると、『当面の経営課題』として多くの企業が昨年度同様「人材不足への対応」を一番に挙げられました。今年度も引き続き、社員の確保と定着に欠かせない要素の一つである“魅力ある職場づくり”をテーマに取り上げ、ご紹介します。



## 第56回通常総会を開催

6  
11

6月11日(火)、第56回通常総会および令和6年度優秀従業員定例表彰をホテルグランヴィア京都にて開催した。(表彰された方々は、5頁に掲載)

14時30分から総会を開会。村尾修会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され議事に入った。当日の議案は次の通り。

- 第1号議案：第56期事業報告及び決算の承認の件  
〈令和5年4月1日～令和6年3月31日〉
- 第2号議案：役員任期満了に伴う改選の件
- 第3号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案については、まず本永専務理事が事業報告全般及び収支決算について説明。続いて、総務委員会・太田克己委員長、企画委員会・照屋倫生委員長、技術・教育委員会・洲崎智之委員長、中堅企業委員会・堀英二郎委員長、中小企業委員会・瀬川晋弘委員長、環境委員会・三ツ松昭彦委員長、安全衛生委員会・島田清孝委員長、広報委員会・武田旬平委員長から各委員会で開催した事業説明が行われた。続いて監事4名を代表して牧野稔監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り承認された。

第2号議案については、去る5月に開催の第344回理事会での審議結果を理事会推薦案として提案し、諮ったところ全員異議なく承認された。

第3号議案については、専務理事が常勤理事の年間報酬総額決定について説明し、異議なく承認された。

これをもって滞りなく全議案の審議を終えた。

続いて報告事項として、第57期事業計画及び収支予算の報告の件〈令和6年4月1日～令和7年3月31日〉について専務理事が説明を行い、これをもって総会議事は終了した。

引き続き理事会を開催し、村尾会長が議長となって役付理事選定を審議した。



まず選任方法について諮ったところ議長に一任され、議長推薦という方法で、役付名簿案が配布され、全員異議なく承認された。

◀ 挨拶 村尾 修・京都工業会会長

会 長	村尾 修 (㈱ジーエス・ユアサコーポレーション 社長)	再任
副 会 長	武田一平 (ニチコン㈱ 会長)	再任
副 会 長	垣内永次 (㈱SCREENホールディングス 会長)	再任
副 会 長	上田輝久 (㈱島津製作所 会長)	再任
副 会 長	山田義仁 (オムロン㈱ 会長)	再任
副 会 長	松下芳弘 (日新電機㈱ 社長)	再任
副 会 長	錦織 隆 (㈱日進製作所 会長)	再任
副 会 長	片岡宏二 (㈱片岡製作所 会長)	再任
副 会 長	瀬川晋弘 (旭光精工㈱ 社長)	再任
専務理事	本永治彦	再任
常任理事	32名	
理 事	26名	
監 事	4名	(新役員名簿は4頁に掲載)

総会終了後、令和6年度優秀従業員定例表彰を開催し、続いて懇親会を開催。懇親会の冒頭、村尾会長が開会挨拶を行い、来賓を代表して文化庁文化戦略官 日向信和氏、近畿経済産業局産業部長 鈴木貴詞氏、京都府知事 西脇隆俊氏、京都市長 松井孝治氏から祝辞をいただいた。

続いて来賓紹介、祝電披露の後、山田副会長の乾杯発声で賑やかに開宴した。

その後は和やかに歓談し、松下副会長の閉会挨拶で盛況裡に懇親会を終えた。



祝 辞  
日向信和・文化庁文化戦略官



祝 辞  
鈴木貴詞・近畿経済産業局産業部長



祝 辞  
西脇隆俊・京都府知事



祝 辞  
松井孝治・京都市長



優秀従業員定例表彰  
謝辞



乾杯  
山田義仁・京都工業会副会長



懇親交流会



閉会挨拶  
松下芳弘・京都工業会副会長

# 令和6年度（第57期）事業計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

**【本年度の重要テーマ】**

1. 課題解決力の強化とリスクリングを軸とした人材の育成  
課題解決力の強化とDX推進、IoT活用などを推進するリスクリングを軸に、労働生産性の向上、働きやすい職場づくり、働き方改革などにつながる人材の育成。
2. 脱炭素・カーボンニュートラルの取組の強化  
TNFDをはじめとする経営を取り巻く「環境」を一層重視し、サプライチェーン全体を見据えた取組の強化。
3. イノベーションの創出につながるネットワークづくりの強化  
スタートアップの創出や協働の支援とともに、災害などのリスク対応や創造的活動などに関わる人・モノ・情報をこれまで以上に的確につなげる取組を強化。

★ 新規事業 ◆ 一部新規 ☆ 重点事業

**1 会の組織強化と会員相互の交流促進**

- 1) 総会、理事会、正副会長会議等の開催 ……随時
- 2) 委員会活動の推進 ……随時
- 3) 広報・会員サービス活動の実施 ……随時
- 4) 会員の拡大 ……年間
- 5) 鳶の会、白鷺クラブ、ゴルフ同好会（KIG）の運営 随時
- 6) 京都工業クラブの開催 ……12回/年
- 7) 新春交歓会の開催 ……1回/年
- 8) ホームページ掲示板機能による情報交換 ……随時
- 9) オンライン研修等の活用促進 ……随時
- ◆10) Webを活用した各種事業の案内強化と参加申込の簡略化 ……随時
- ★11) 京都のモノづくり企業樹形図製作に向けたタスク・フォース ……随時

- ⑧.生産現場リーダー力強化研究会 ……10回/年
- ⑨.良いモノづくりをする女性のための研究会 ……4回/年
- 4) 特定分野研究会等の開催（若手～経営幹部対象）
  - ◆①.知的財産権研究会 ……9回/年
  - ◆②.テクノロジー&マネジメント研究会 ……14回/年
  - ◆③.情報通信研究会 ……7回/年
  - ◆④.IoT事例見学会 ……5回/年
  - ◆⑤.AI研究会 ……5回/年

**5) 京都高等技術・経営学院の運営（若手技術者対象）**

- ア.研究科 ……6～2月 1回/週
- ・電子システム研究科
  - ・メカトロニクス研究科
- 各研究科延べ70回

**イ.本科**

**<技術課程>**

- ・機械設計コース ……17回/年
- ・機械製図コース ……5回×2クール/年
- ・機械加工技術コース ……4回/年
- ・特定分野コース（特に最近開催ニーズの高い3つの講座を実施）
  - ◆①.材料技術講座 ……4回/年
  - ②.ライフサイエンス講座 ……4回/年
  - ◆③.DX推進人材育成講座 ……(1) 3回/年、(2) 4回/年  
(1)ニューラルネットワーク講座 (2)ソフトウェアツール編

**<管理課程>**

- ・モノづくりベーシック講座 ……4回/年
- ・FMEA・FTAコース ……5回/年

**3 オープンイノベーション推進による新産業・新事業創出**

- ★1) モノづくりイノベーションネットワークの実用化促進加速 ……年間
- ★2) 「モノづくりフォーラム2025」の開催 ……1回/年
- ★3) 産学連携によるイノベーション推進セミナー（再掲） ……2回/年
- ★4) 京都知恵産業創造の森との連携 ……年間

**4 経営グローバル化の推進**

- 1) 海外産業視察団の派遣 ……2回/年
- 2) 海外ビジネスセミナーの共同開催 ……1回/年
- 3) ジェトロ京都貿易投資情報センターとの連携 ……随時
- 4) 海外経済団体との交流 ……随時
- ★5) 外国人材採用に向けた送り出し現場の視察研修（再掲） ……1回/年

**5 中堅・中小企業の振興**

- 1) 中小企業技術幹部交流会の開催 ……5回/年
- 2) 中小企業見学会の開催 ……4回/年
- 3) 生産革新工場見学会の開催（再掲） ……4回/年

**6 地球環境の保全と環境経営の推進**

- 1) 京都環境管理研究会の開催 ……7回/年
- ★◆2) 脱炭素化取り組み支援セミナー（再掲） ……1回/年
- 3) 環境マネジメントシステム（ISO14001及びKES）の推進 ……年間
- ★4) 会員の環境活動に対する支援 ……随時
- 5) 環境関連3団体、その他外部団体との協働 ……年間
- 6) 第48回 関西環境管理者交流会 ……1回/年

**7 労働安全衛生の推進**

- ★1) 安全衛生関連セミナーの開催 ……1回/年
- ◆2) 労働安全衛生研究懇話会の開催（再掲） ……7回/年

**8 地域産業の活性化**

- 1) 国・京都府・京都市等関係行政機関との連携 ……随時
- 2) 京都経済団体協議会との協調 ……随時
- 3) 府内・外関係経済団体との協調 ……随時
- ★4) 京都知恵産業創造の森との連携（再掲） ……随時
- 5) 環境関連3団体との協調（再掲） ……随時
- 6) 青少年と科学の会への支援及び京のエジソンプログラムの推進 ……随時
- 7) 北部地域産業界との連携 ……随時
- 8) 要望活動 ……随時

**9 京都工業会館跡地の有効活用**

**2 経営・業務革新の促進と人材育成**

**経営課題解決シリーズ 1)～2)**

- 1) 大会・フォーラム・セミナー・養成講座・視察・見学会等
  - ア.第27回 京都KAIZEN大会の開催 ……1回/年
  - イ.第18回 京都TQMフォーラムの開催 ……1回/年
  - ◆ウ.購買管理特別講演会の開催 ……1回/年
  - ◆エ.経営革新セミナーの実施 ……2回/年
  - オ.ISO9001・ISO14001内部監査員養成講座の開催 ……4～5回/年
  - カ.他府県産業視察の実施 ……1回/年
  - キ.生産革新工場見学会の開催 ……4回/年
  - ク.2024年版ものづくり白書説明会 ……1回/年
  - ケ.課題対応型セミナーの開催
    - ◆・エンジニアでなくても解る「モノづくり超基本」勉強会 ……5回/年
    - ★・産学連携によるイノベーション推進セミナー2回/年
    - ★◆・脱炭素化取り組み支援セミナー ……1回/年
    - ★・ロボット導入・運用支援 見学会 ……1回/年
    - ★・デジタル・トランスフォーメーション（DX）講座 ……4回/年
    - ★・生成AI活用セミナー ……2回/年
    - ◆・サイバーセキュリティ対策セミナー ……1回/年
    - ・ブロックチェーンセミナー ……1回/年
    - ★・ものづくりにおけるデータ活用セミナー ……1回/年
    - ★・マテリアルズ・インフォマティクス（素材開発の効率化技術）セミナー ……1回/年
    - ・モノづくりモチベーションアップセミナー ……1回/年
    - ・業務改善のためのアイデア発想講座 ……4回/年
    - ・外国人材マネジメントセミナー ……3回/年
    - ★・外国人材採用に向けた送り出し現場の視察研修 ……1回/年
    - ★・人事評価制度導入・運用支援セミナー ……1回/年
    - ★・小売業・サービス業から学ぶブランディング勉強会 ……1回/年

**2) 経営管理懇話会の開催（管理者対象）**

- ①.経営企画戦略会議21 ……7回/年
- ◆②.R&D問題懇話会 ……6回/年
- ◆③.購買・資材問題懇話会 ……6回/年
- ◆④.生産問題懇話会 ……6回/年
- ◆⑤.品質保証懇話会 ……6回/年
- ◆⑥.人事労務問題懇話会 ……6回/年
- ◆⑦.労働安全衛生研究懇話会 ……7回/年
- ◆⑧.女性活躍推進懇話会 ……4回/年
- ◆⑨.経理問題懇話会 ……6回/年
- ◆⑩.監査部門懇話会 ……6回/年

**リスクシリーズ 3)～5)**

**3) 業務革新研究会の開催（若手社員～中堅実務者対象）**

- ◆①.開発設計革新（VE）研究会 ……10回/年
- ◆②.流れづくり（VSM）研究会 ……10回/年
- ◆③.購買調達革新研究会 ……10回/年
- ④.生産管理（TOC）研究会 ……10回/年
- ◆⑤.品質革新研究会 ……10回/年
- ⑥.産業工学（IE）研究会 ……10回/年
- ◆⑦.生産保全研究会 ……10回/年

# 令和6・7年度 公益社団法人 京都工業会 役付役員等名簿

※印=新任

(令和6年6月11日時点、敬称略)

工業会役職	氏名	会社名	会社役職	工業会役職	氏名	会社名	会社役職
会長	村尾 修	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション	社長	常任理事	山岡 靖尚	(株)山岡製作所	社長
副会長	武田 一平	ニチコン(株)	会長		山口 悟郎	京セラ(株)	会長
	垣内 永次	(株)SCREEN ホールディングス	会長		山口 進	(株)川島織物セルコン	会長
	上田 輝久	(株)島津製作所	会長	理事	安藤 源行	(協)日新電機協力会	理事長
	山田 義仁	オムロン(株)	会長		井上 哲次	京都精工電機(株)	代表取締役
	松下 芳弘	日新電機(株)	社長		今岡 俊成	朝日レントゲン工業(株)	社長
	錦織 隆	(株)日進製作所	会長		上野山 寛次	上野山機工(株)	社長
	片岡 宏二	(株)片岡製作所	会長		大蔵 浩二	(株)トミナガ	社長
	瀬川 晋弘	旭光精工(株)	社長		大谷 忠雄	サンコール(株)	社長
専務理事	本永 治彦	(公社)京都工業会	専務理事		奥戸 義昌	関西電力(株)	執行役員京都支社長
常任理事	足立 正之	(株)堀場製作所	社長		尾崎 至弘	丹後機械工業(協)	理事長
	今西 哲雄	太平工業(株)	社長		河上 麻紀	大日本印刷(株)Life デザイン事業部 第2B1センター長	
	尾池 均	尾池工業(株)	社長		川口 剛史	(株)日本ジョイント	社長
	大倉 治彦	月桂冠(株)	社長		小林 剛一	日本電気化学(株)	社長
	大下 実	(株)イシダ	常務取締役		里村 和樹	宇治電器工業(株)	社長
	岡田 博和	TOWA(株)	社長		志賀 哲也	日本たばこ産業(株)関西工場	工場長
	小倉 勇	(株)たけびし	会長		島田 理史	(株)菊水製作所	社長
	檜 藤達郎	(株)カシフジ	社長		須河 進一	須河車体(株)	社長
	木村 睦宝	ホールディングス(株)	社長		洲崎 章弘	京都府鋳物工業(協)	代表理事
	桑原 千香	大阪ガス(株)	理事 京都地区統括支配人		鈴木 順也	N I S S H A(株)	社長兼CEO
	材木 正己	日東精工(株)	会長兼CEO	※	高見 哲夫	(株)松風	社長
※	阪口 雄次	(協)京都府金属プレス工業会	理事長	※	中村 道一	N K E(株)	社長
	坂本 隆司	第一工業製薬(株)	会長	※	中本 宏樹	福知山重工業(株)	社長
	佐口 敏康	グンゼ(株)	社長	※	西岡 誠司	(公社)京都工業会	理事・事務局長
※	鈴木 三朗	(株)最上インクス	相談役		橋本 進	(株)京都製作所	会長兼CEO
	砂崎 達哉	(株)砂崎製作所	社長		藤永 清恵	(株)森川製作所	社長
	園田 修三	福田金属箔粉工業(株)	社長		水主 吉彦	太陽機械工業(株)	社長
	竹ノ内 壯太郎	三和研磨工業(株)	社長		山中 泰宏	旭金属工業(株)	社長
	田中 滋	京都機械工具(株)	社長		吉田 典生	三和化工(株)	社長
	田中 博	(株)モリタ製作所	社長	監事	佐藤 博文	エンゼル工業(株)	会長
	塚本 能交	(株)ワコールホールディングス	名誉会長		澤田 守成	(株)パックス・サワダ	会長
	津田 幸平	津田電線(株)	社長		中野 秀紀	明光精器(株)	社長
※	中島 規巨	(株)村田製作所	社長		牧野 稔	サンエー電機(株)	社長
	堀 英二郎	(株)ホリゾン	社長		顧問	田中 千秋	元日本電池(株) / 京都工業会 元会長
	前川 重信	日本新薬(株)	会長		服部 重彦	(株)島津製作所 / 京都工業会	元会長
	増山 晃章	星和電機(株)	社長		依田 誠	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション / 京都工業会	元会長
	御子神 隆	三菱ロジスネクスト(株)	会長		中本 晃	(株)島津製作所 / 京都工業会	前会長
	村田 大介	村田機械(株)	社長	参	与	立石 文雄	オムロン(株) 名誉顧問
※	森下 善史	三菱自動車工業(株)京都製作所	所長		齋藤 成雄	日新電機(株)	取締役

# 令和6年度 会員企業優秀従業員定例表彰

6  
11

6月11日(火) 通常総会終了後、令和6年度優秀従業員定例表彰を挙げる。

まず、村尾 修会長が式辞を述べ、その後、受賞者全員の名前を読み上げ、受賞者67名(52社)を代表して、小山修慶氏(クロイ電機株)へ村尾会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて、来賓の京都府商工労働観光部長 上林秀行氏、京都市産業観光局長 砂川 敬氏から祝辞をいただいた後、受賞者代表として西村雅嗣氏(一志株)が謝辞を述べた。

その後、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



表彰された67名の方々

## 〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株)旭 プレシジョン	竹内 義隆	島津 システム ソリューションズ(株)	平井 睦陽	ニチコン 亀岡(株)	矢尾 滋
朝日レントゲン工業(株)	田岡 裕章	(株)島津製作所	田中 裕次	(株)日進製作所	芦田 政尚
(株)イセト	地平和美	(株)島津製作所	花元 龍二	(株)日進製作所	藤村 朱美
(株)イセト	富楽 正博	島津トラステック(株)	尾崎 篤史	日新電機(株)	川辺 茂樹
一志(株)	西村 雅嗣	島津トラステック(株)	楠山 信之	日新電機(株)	花井 貴士
オムロン(株)	宇野 徹也	島津プレシジョン テクノロジー(株)	國居 保春	福田金属箔粉工業(株)	山本 宗
オムロンソーシャル ソリューションズ(株)	馬淵 雅夫	(株)松風プロダクツ京都	福嶋 康浩	(株)平安製作所	萬木 清丙
オリオン(株)	山瀬 晃一	(株)SCREENグラフィック ソリューションズ	片山 雄士	(株)堀場製作所	辻岡 唯二
尾池工業(株)	平山 貴之	(株)SCREENファインテック ソリューションズ	柳沢 暢生	三菱自動車工業(株) 京都製作所	赤松 知一
大阪ガス マーケティング(株)	山本 由紀雄	須河 車体(株)	藤田 勸二	三菱自動車工業(株) 京都製作所	高田 照好
(株)片岡製作所	小坂 利恵	菅原 精機(株)	神田 憲治	三菱ロジスネクスト(株)	谷口 正彦
(株)菊水製作所	田島 功	星和電機(株)	高住 健一	三菱ロジスネクスト(株)	田中 忍
京都機械工具(株)	頼 富士朗	星和電機(株)	堤 貞行	(株)宮木電機製作所	堤 勝明
(株)クリスタル光学	淵田 幹男	(株)たけびし	河原林 豊	村田機械(株)	野間 英治
クロイ電機(株)	小山 修慶	太陽機械工業(株)	糸井 尚弘	村田機械(株)	森田 晃弘
月桂冠(株)	木村 孝志	(株)竹中工務店 京都支店	石高 新也	メテック(株)	岡田 忠司
(株)工進	小林 英樹	(株)大日本科研	太田 栄司	明光精器(株)	増田 将輝
サンコール(株)	安川 貴幸	トクデン(株)	古田 温	(株)モリタ製作所	藤田 里江
(株)最上インクス	平松 徹	(株)トミナガ	長谷川 克巳	(株)モリタ製作所	保木 一豊
(株)佐藤製作所	田中 功	TOWA(株)	大樋 充	(株)ユーシン精機	表 裕介
三幸総研(株)	吉雄 啓一	TOWA(株)	前田 英伸	(株)ユーシン精機	山本 浩史
(株)GSユアサ	荻野 純次	(株)藤堂製作所	原 善春		
(株)GSユアサ	佐藤 哲哉	ニチコン(株)	美濃部 利彦		

(企業名50音順)

## ■会員企業トップにインタビュー 〈37〉

# ニーズの本質を捉え、顧客要望の上をいく提案を心掛け、より良いものを一緒に作る

西田製函株式会社 プロフィール  
設立：1954年（昭和29年）  
資本金：1,000万円 社員：20人  
住所：京都府久世郡久御山町田井新荒見140  
業種：製函業、梱包業、倉庫業、包装資材販売 他

## 西田製函株式会社

代表取締役社長 斉藤妙子氏、専務取締役 斉藤旭生氏  
(役職は取材当日(5/24)のものに記載)

今般、親から子へバトンを繋ぎ、更なる飛躍を目指して顧客と一緒に製品づくりへの挑戦を続ける西田製函株式会社の斉藤 妙子 代表取締役社長（現・取締役）と斉藤 旭生 専務取締役（現・代表取締役社長）にお話を伺いました。

### 一創業、そして事業改革へ

私（斉藤社長）の父が木箱の製造からスタートしました。七条大宮の辺りで創業し、中央卸売市場の鮮魚部門で魚を運ぶための通い箱を作り始めたようです。しかし競争が厳しくなり、それだけではやっていけないということで、終戦後まもなく三菱自動車工業からのご縁をいただき、国内向けの自動車エンジンミッションの枠を作って梱包し収める仕事にシフトしていきました。

そして今から約40年前、主人が“未来の社長”として入社しました。その時に、“木材だけでは今後は伸びないだろう”と考え、木材とプラスチックを融合した製品を作り、2代目を継いだ主人が三菱自動車工業にそれを提案してから受注量が増加しました。

### 一改革を支えた技術力

木製を使った製品から軽量化のためプラスチックを使った製品にシフトするに当たっては、住友化学工業などと共同研究を行い、プラスチックの曲げの技術を開発しました。貼り合わせをする時に、木は釘を打てますがプラスチックに釘は打てないので、折り曲げを機械でどのようにするか、また木とは違って大きいサイズを作るのにできるだけ棚を使わないように工夫して作ってみたいしました。接合部分の場所が少しでも異なると似たような作りでも特許から外れてしまうため、特許を30件余り取得しています。

### 一当社の強み

“創造と奉仕でお客様の喜びのために”ということが、前社長から続く当社の理念であり、お客様の求める製品の提供を目指しています。このため、当社では既製品が無く、全てオーダーメイド製品であり、お問い合わせを受ければ1個から何個でも、お客様の希望するオーダーをお受けしています。そして、軽量のものや使い勝手の良いものなど、お客様にとって、より便利になるような提案も積極的に行い、お客様のニーズに合わせたものを一緒に作っていく製品づくりが強みだと思っています。



### 一新たに取り組んでいる特徴的なこと

社員からの提案の商品化にも取り組んでいます。商品アイデアが出されて検討することが決まると、初めは約半年、検討グループを作って試作品作りを進めます。半年後、試作したものを社員間で評価してもらい、さらに継続したい人と、違うものを作りたい人に分けて、継続して取り組みたい社員だけがグループに残って製品化へのチャレンジを続ける仕組みです。

商品化できた例を1つ挙げると、実はAKB48とコラボレーションしています。社員の中にアイドル推しをしている者がおり、「推しグッズ」をライブ会場へ持って行ったりお家に飾るんですね。その社員は家に飾っておきたい「推しグッズ」を作りたいということで取り組んだのです。一昨年、出来上がった製品を試しにビッグサイトで展示したところ、たまたまAKB48の3人のメンバーが前を通りかかり、グッズを見て「これがいい」って言っていただいたのです。これがきっかけでAKB48のプロデューサーと直接相談できてコラボレーションすることになりました。

### 一環境問題への取組

当社にはボランティア活動があって、月に一度、毎月第4金曜日に社員が就業開始の1時間前に出てきて、会社周辺の道路や公園などの町内掃除をしています。業務外での自主的な活動なのですが、既に社風として根付いているためか、社員から不平の声などは全く出てきません。こうした環境への取組は前社長が環境問題に関心を持って始めました。KES認証も約15年前から取得しています。

### 一今後の抱負

<斉藤妙子社長>

お客様の正面を向いて仕事をするのが1番大切で、お客様に喜んでいただける製品作りに取り組んでいきたいと思っています。また、社員やご家族に“当社に勤めて良かったな”と思ってもらえるような会社を目指しており、皆が笑顔で声を掛け合う会社であって欲しいなあっていう風に思います。

<斉藤旭生専務>

当社の得意分野を使って世の中に良い機能を提供したいと考えています。また、通い箱はリターンブルで何回でも使っていただける上、ゴミがほとんど出ないので、環境面で世の中の役に立てると感じています。そこで、通い箱の良さを積極的にアピールして、展示会などを通してもっと世間に広めていきたいなと思っています。

## 白鷺クラブ活動報告

### ● 令和6年度定期総会（鳶の会と合同開催）

4月4日（木）に、白鷺クラブの令和6年度・定期総会を「鳶の会」と合同で30名が出席して開催した。

冒頭、岡本代表幹事が開会挨拶を行った後、令和5年度活動報告、令和6年度役員選任、そして本年度事業計画について活発な討議を行い、全ての案件について満場一致で承認された。

今年度は、コロナ禍で中断していた海外視察の他、国内視察として6月13日・14日に青森県を訪問する。また、本会首脳との懇談や他府県の若手経営者との交流事業等も予定されている。

#### <令和6年度 代表幹事2名 及び役員>



山本 光氏  
(平安・専務取締役)



中本 宏樹氏  
(福知山重工業・社長)

- 幹 事：岡本 浩志 氏（大日本科研・社長）  
 〃 山岡 靖尚 氏（山岡製作所・社長）  
 〃 河合 領 氏（京和ブロンズ・社長）

### ● 6月例会 <青森県産業視察団 開催報告>

日 時：令和6年6月13日（木）～14日（金）

参加者：13名

本年度の他府県産業視察は、自然に恵まれ地震や台風等の災害が少なく、自治体からのサポートが充実し企業が進出しやすい青森県を訪問。質の高い人材と低コストで広い土地を確保し、働きやすい環境を整えているモノづくり優良企業を訪問し研鑽を積むとともに、会員間の一層の交流を図った。

1日目は、八戸市に所在する液晶ディスプレイ製造装置や半導体製造装置等を製作する(株)アルバック東北工場と地元大手鉄骨業の三浦建設工業(株)、2日目は五所川原市に所在し、半導体ウェハの製造を手掛ける富士電機津軽セミコンダクタ(株)と超精密加工一筋に製造する(株)竜飛精工青森工場を訪問する行程で、それぞれ特色ある製造現場を視察して見聞を広めた。

#### <訪問先の概要>

##### ◇(株)アルバック 東北工場（八戸市・本社 神奈川県）

【事業内容】真空成膜装置、機械切削加工・溶接、スパッタ用材料製造など

【代表者名】工場長 山田 和男 氏

【設立（創業）】1987年1月

【資本金】208億7,304万2,500円

【従業員数】1,710名 連結6,264名

対応者：副工場長・理事 兼田良勝氏

1987年(株)アルバックの東北における生産拠点として大型装置の生産体制強化を目的に東北真空技術(株)として設立し、2022年に(株)アルバック



により吸収合併。同社は1952年、「真空技術で日本の産業に貢献しよう」と集まった若い研究者たちの熱い情熱に心を動かされた松下幸之助氏など6人のエンジェルが出資して誕生。技術革新による産業構造の変化に対応し、これまでの自動車、化学・医薬・食品、冶金、半導体・電子部品・液晶パネル、有機EL等の量産化に加え、今後はスマート社会の実現に向け、IoT、ビッグデータ、人工知能、自動運転などで次世代のライフスタイルを支える。

事業概要の説明を受けた後、機械加工・溶接の工場を中心に見学、30年以上にわたり蓄積された経験知で溶接縮み量、表面処理後の寸法変異を事前に考慮しての高精度な製品づくりの様子を見学した。

##### ◇三浦建設工業(株)（八戸市）

【事業内容】建築鉄骨製造業、総合建設業

【代表者名】代表取締役社長 三浦 隆宏 氏

【設立（創業）】1953年（1916年）

【資本金】60億円 【従業員数】97名

対応者：取締役副社長 中田美亀雄氏 他

国土交通省大臣認定の「Hグレード」認定工場、大型物件に対応できる工場。競合他社に先駆けて溶接ロボットを導入し、現在20台が稼働し、技能伝承にも力を入れている。事業計画にマッチする補助金を積極的に活用して最新設備を導入し、一貫加工体制を整え高い品質を維持している。また、完全自家消費型太陽光発電設備を導入し消費電力の約36%を再生可能エネルギーで賄い、環境省が策定した環境マネジメントシステム（EMS）「エコアクション21」の認証を受けるなど、環境に配慮した企業活動も積極的に行っている。



工場建屋14,000㎡の広大な施設内で稼働するロボット群や大型材料の製造現場は壮観であった。

##### ◇富士電機津軽セミコンダクタ(株)（五所川原市）

【事業内容】半導体ウェハの製造（パワー半導体、マイコンその他ファブドリー受注）

【代表者名】代表取締役社長 一戸 裕康氏

【設立（創業）】2012年7月（旧社操業1973年7月）

【資本金】1億円 【従業員数】389名

対応者：桃井特別顧問（(一社)青森県工業会 会長）

青森県は過去30年間、県内を震源とする震度5以上の地震は発生していない。過去10年間、台風上陸は2回のみ。落雷頻度も指数で見ると全国で2番目に低い。



当工場は、マイコンを中心に培ってきた特色ある開発・製造技術を生かし、パワーエレクトロニクスのキーデバイスであるパワー半導体製品向けウェハを製造。パワー半導体はインバータやNC工作機械、自動車、家電製品など様々な用途に使われ、高効率化と省エネに貢献している。特に同社が製造する次世代半導体（SiC・炭化ケイ素製品）は電気的ロスが少なく、車載分野では燃費・電費が向上し走行距離延長や、電池の小型化が可能で将来の脱炭素社会に向けたキーデバイスになる。

人材育成に向けた取組として、地元高校の「総合的な探究の時間」の講義を引受け、ものづくりや半導体向け地元人材の掘り起こしを支援。小中学生向けには、児童保護者を含め工場見学会を継続的に開催している。

採用面では、19～23年度の5年間で地元校を中心に積極的な採用活動を推進し新卒者46名に加え、人材紹介企業・社内募集等によるキャリア採用活動も推進し35名を採用。24年度は大学及び専門学校卒9名、高卒7名を採用している。

その他、健康経営の取組、地域との連携、取引先との積極的交流、環境改善・美化活動、地元ねぶた祭りへの参画、社会人サッカーオフィシャルパートナーとしての支援等、様々な活動も展開。

同社概要説明の後は、クリーンルームで作業する様子などを見学した。

#### ◇(株)竜飛精工青森工場（五所川原市）

【事業内容】精密プラスチック金型設計・製造

【代表者名】代表取締役 花田 悟 氏

【設立（創業）】1972年1月

【資本金】1,000万円【従業員数】36名

大手家電メーカー向けの金型製作でスタート。81年NCフライス機、89年NC放電加工機・NCワイヤ放電加工機、90年CAD/CAM、05年高精度マシニングセンター、17年大型マシニングセンター、21年マシニングセンターとロボットを計画的に導入し業容を拡大。

製品割合は車載74%、家電11%、その他15%。用途ではエンブレム・オーナメント、ガーニッシュ、各種電極版、ノブライト、釣り用疑似餌、バトミントンのシャトル等。

#### 【同社の強み】

- ・業界内でいち早く3次元設計&デジタル化に着手
  - ・平均年齢37才 高精度な金型を製作
  - ・業界トップクラスの品質でトヨタ、ヨネックス、テルモ等、数多くの大手メーカーに貢献
  - ・全社員が青森県出身で正社員 約3割が女性
- 規模は小さいが実力のあるモノづくりを実感した。

## 第684回 京都工業クラブ

4/18

### 「2050年カーボンニュートラル 現実の壁を越えて夢の実現へ ～都市ガス業界からのアプローチ～」

大阪ガス株式会社 理事・京都地区統括支配人  
桑原 千香氏

エネルギー業界にとって最重要課題である2050年カーボンニュートラル（以下CN）への取組には、①再生可能エネルギー、②水素・アンモニア等があるが、それぞれに現実問題として大きな壁がある。その壁を超えるための重要な要素として水素とCO<sub>2</sub>から合成されるe-メタンに注目が集まっており、同社は実用化に向けた様々なプロジェクトや研究開発を推進している。e-メタンを合成する技術・メタネーションにもコスト・技術・政策等の壁が存在するが、様々なアプローチを続けCNの実現を目指す取組について何う事ができ、興味深い例会となった。



## 第685回 京都工業クラブ

5/20

### 「医工農のためのものづくり技術と 実用化を目指すマイクロデバイス」

鳥取大学 工学部 電気情報系学科  
准教授 松永 忠雄氏

部品メーカーで半導体加速度センサ開発に関わり東北大学工学部に出向、その後同大学医工学研究科に進まれたご自身の経験も踏まえ、医工連携の実例や研究中の次世代医療デバイス（カテーテルや内視鏡等の低侵襲医療）について説明された。また、それら微細加工技術の鳥取大学乾燥地研究センターでの農業への応用事例も紹介された。最後に、医療デバイスは企業だけ、大学だけでは中々実現しないものであり両者のコラボレーションが大事で、そこで大学発ベンチャー企業等が橋渡しとなって連携が進むのではないかと述べられた。



## 第686回 京都工業クラブ

6/21

### 「モノづくり企業における生成AIの利活用」

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
（オンライン）執行役員 馬淵 邦美氏  
（オンライン）執行役員 津端 清氏  
ディレクター 岡部 亮一氏

最初に馬淵氏から「生成AIにおけるトレンド」と題して、生成AIの概要や構造、そして生成AIを活用した経営変革の道筋—①導入フェーズ（生成AIの理解と探求）②最適化フェーズ（生成AIの業務における活用）③統合フェーズ（生成AIによる統合プロセス構築）④変革フェーズ（生成AIの戦略資産化と経営変革）—について解説がなされた。続いて岡部氏から「製造領域における生成AI活用」と題して、ものづくり領域での生成AI活用について、業界（電気機器製造業、半導体製造業、製菓業）や、業務領域（企画・開発、調達、生産、品質等）別に具体的事例を紹介された。最後に津端氏からデモンストラレーション動画による事例の紹介があり、生成AIの可能性を大いに感じる例会となった。



岡部氏

## ◆ 業務革新研究会 ◆

本会の基幹事業の1つである業務革新研究会(8研究会)は、192名の参加者を得て、令和6年5月9日(木)から研究会ごとに本年度の活動を順次開始した。

各研究会とも、初回は午前から開催し、まずは研究会活動の説明を行ない、その後、自己紹介、研究会活動の年度方針(スローガン)の検討、前期カリキュラム(5月～9月)の検討を行った。午後からは、アドバイザーからの基調講演やそれに基づく活発な討議等が行われた。

以下、主な活動概要を紹介する。

### 【生産保全研究会】

5月例会では、アドバイザー木村直人氏(元京都機械工具(株)取締役専務執行役員)から基調講演として「TPM活動の位置付け・役割」と題し、効率的生産とTPM、設備総合効率についてお話をいただいた。

【講演内容】(令和6年5月24日開催・抜粋)

#### ◇設備総合効率

設備総合効率=時間稼働率×性能稼働率×良品率

・時間稼働率

= (負荷時間 - 停止時間) / 負荷時間 × 100

・性能稼働率

= (基準サイクルタイム × 加工数量) / 稼働時間 × 100

・良品率

= (加工数量 - 不良数量) / 加工数量 × 100

### 【品質革新研究会】

6月例会では、アドバイザー高山直彦氏(元(株)島津製作所 分析計測事業部 副参事)から「困り事解決プロセス(DRとAHP分析)」の講義をいただき、AHP分析の演習を行った。

【討議内容】(令和6年6月25日開催・抜粋)

#### ◇Design Review:設計審査

開発プロセス(企画立案)から製品発表までに行う審査。大きく分けて5回の検討がある

#### ○開発起案検討会

要素技術研究が不十分な場合、製品開発の期間内でどのように計画するかがポイント

#### ○構想設計DR

要素技術検討完了

#### ○詳細設計DR

図面に基づく安全性の詳細検討

#### ○試作DR

試作品評価(機能性能・信頼性・安全性)、製造評価(試作のプロセスを展開してQC工程図を検討・評価)、原価評価

#### ○量産DR

量産品の性能・ばらつき評価、QC工程図最終検討

京都高等技術・経営学院

【第44回電子システム研究科】  
【第41回メカトロニクス研究科】 開講

6/24

6月24日、理論に基づく応用力の強化、先端電子技術を修得する第44回電子システム研究科(12名)と、機械と電子の接点を理解・習得する第41回メカトロニクス研究科(14名)の合同開講式を挙行了。

今日の激しい技術革新に対応する技術人材の育成が企業の持続的発展に向けて何よりも求められている。

そのような中、両研修は、幅が広く、力量のある、そして実践的対応力のある人材育成をはかることを目的に、京都府の支援と地元の大学と産業界の協力により来年2月下旬まで行われる長期研修として定着し、京都のモノづくりを支える人材を数多く輩出している。

当日は、松下芳弘京都高等技術・経営学院長(本会副会長)の式辞、そして京都府中小企業技術センター所長 北垣 寛 氏からお祝いと激励の言葉がおくられ、長期研修のスタートを切った。

## 予告ご案内

### サイバーセキュリティ対策セミナー 2024

巧妙化し増加を続けるサイバー攻撃は、規模や業種に関係なく、どの企業でも狙われる可能性があり、サイバーセキュリティ対策はモノづくり企業にとって、事業を継続するために包括的に取り組むべき重要な経営課題です。

今回、サイバー攻撃の最新事情・実態と知っておくべき対策や工場のセキュリティ対策などに関して学んでいただきます。

開催日時 2024年9月9日(月) 14:00 ~ 16:00

開催場所 京都工業会 会議室とオンラインの併用

対象 京都工業会会員、一般

定員 会場参加 50名 オンライン参加 500人

参加費 無料

講演 ① 「サイバー攻撃の事例と中小企業が  
取り組むべき対応」

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティーセンター

調査分析部サイバーインシデント調査室

室長 中山 顕 氏

講演 ② 「サイバー犯罪の現状と対策」

京都府警察サイバー対策本部サイバー企画課

課長補佐 吉岡 竜之介 氏

## シリーズ 魅力ある職場づくり～会員企業の取組紹介～その⑤

本年度も引き続き、職場の魅力向上に努めておられる会員の状況をご紹介します。

第5回は株式会社日進PREVO本社/菅工場を訪問して、お話を伺いました。

(取材日:令和6年5月29日)

### 株式会社日進PREVO

合併会社発足年：令和6年 資本金：4,500万円  
社員：239人 住所：京丹後市峰山町菅123-1

#### お話を伺った皆様

代表取締役社長 谷 和弘 氏

取締役 村尾和孝 氏

本社/菅工場

管理部 部長 畑中孝一 氏

同 管理課総務係長 藤原尚美 氏

加工製造部 精密加工課長 松本貴也 氏

同 精密加工課精密1係 多賀野桂伍 氏

谷内工場

管理部 管理課長 小川 晃 氏

同 管理課総務係長 岡田理沙 氏

素形製造部 鍛造課長 向山義徳 氏

同 鍛造課鍛造3係 山本瑛平 氏



株式会社 日進 PREVO

#### 事業概要

本年4月1日付で、旧(株)タンゴ技研と旧(株)大宮日進が合併して発足した新しい会社です。旧(株)タンゴ技研は親会社の(株)日進製作所の協力会社として1959年に設立され、精密部品加工を行っていました。また、旧(株)大宮日進は(株)日進製作所の子会社として1987年に設立され、精密熱間鍛造品を製造してきました。この2社が事業統合を行い、4月から株式会社日進PREVOとしてスタートしました。それぞれの会社が持っていた強みである“サブミクロンパーツ製造技術”と“精密熱間鍛造技術”の融合を軸に一体化することで、今求められている“一貫加工による製品の要望”と“時代のスピードに合わせた製品の提供”を成立させ、新たな取引先への対応を強化していきたいと考えています。

#### 地域の青少年教育支援

“TANGO子ども未来プロジェクト”という京都府丹後教育局を中心とする取組があり、その中の事業「出前講座」を小学校5年生の工業社会の勉強として、当社社員が毎年小学校に出向き授業をしています。“当社はこんなものを作っています”という話を、毎年4、5回行っており好評です。地元の子供達の“会社があるのは知って

いるけれど何の会社か知らない”という声に応えるとともに、“色々な技術を持っている会社が身近なところにもあるんだよ”と知ってもらうことで、大学進学等で地元を離れても、将来、京丹後市に戻ってきて就職してくれたら良いなと思っています。他にも、高校生向けのインターンシップや、小学生や中学生の工場見学を受け入れています。

#### 特別有給休暇制度

本来なら有給休暇や、早退、遅刻で対応してもらうところでも、理由によっては特別休暇扱いにしています。当社の所在する京丹後市峰山町周辺は消防団活動が活発で、火災発生による緊急呼び出しはもちろん、行方不明になった高齢者探しなどにも消防団が出動するのですが、地元貢献という観点で、社員の消防団活動への参加を認めています。活動参加は全て出勤扱いすることで、社員が遠慮なく参加できる環境を作っています。こうした取組により、消防団協力事業所に認定されました。

#### 女性社員の積極採用

女性社員から、今は子供が小さいので9時から16時までしか働けないとか、子供が大きくなったのでもう一度働きたいなどの要望があれば受け入れ、柔軟な勤務体系で女性がより働きやすい環境づくりを心掛けています。このため、製造業は男性メインのイメージが強いですが、当社では約3割を女性社員が占めています。当社に来られたお客様から“貴社では女性社員をよく見かけますね”と言っていたりすることもあります。

#### 誰もがカバーし合える多能工育成

谷内工場では、特定のプレス機器は担当オペレーター以外に機械操作を出来る者がいなかったため、担当者は休めない状況でした。これを早急に改善するため、プレス機器のオペレーターを育成し、誰もが休暇を取りやすい環境に改善しました。1つのプレス機でもきちんと扱えるようになるにはある程度の経験年数が必要なので、これを機に、各社員が複数の機械を使えるように教育・訓練を行っています。現場ではベテラン、中堅、若手の3名1組の組み合わせでローテーションしており、今では誰かが休んでも業務を常に回わせる体制が整いました。

#### 技能習得意欲の涵養

当社は、技術力に強みを持つメーカーとして、技術に関する様々な資格を取得して仕事に生かしてもらいたいと考えており、社員が自己啓発に取り組みやすい環境整備に努めています。勉強の励みとなるインセンティブも設け、資格を取って頑張ってもらえるよう、それを全面的にサポートすることで社員の士気が上がり、仕事への意欲も高まっています。

現在、旧タンゴ技研で製造に関わる社員約100名は、技能検定資格では延べ330名分が取得しており、平均す



## 叙勲の栄

本年度の春の叙勲・褒章が発令され、本会関係では畑正高氏とその栄に輝かれました。  
会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。



旭日双光章御受章

畑 正 高

(株)松栄堂 代表取締役社長

## 新入会員ご紹介

(令和6年5月17日、第344回理事会で承認されました。)

### 賛助会員

日本通運(株) 京都支店

支店長 岡本 俊一

〒600-8214 京都市下京区東塩小路高倉町2-1  
京都ケイズビル2階・3階  
TEL.075-606-1102 FAX.075-644-7763  
物流事業全般

パーソルテンプスタッフ(株)  
関西営業部京都オフィス

部長 北田 洋一

〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20  
TEL.075-252-4744 FAX.075-252-6549  
労働者派遣事業、有料職業紹介事業

### 特別会員

明治安田生命保険(相) 京都支社

支社長 宇戸 大輔

〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町552  
明治安田生命京都ビル 2F  
TEL.075-241-4811 FAX.075-241-4816  
生命保険業

(令和6年6月11日、第345回理事会で承認されました。)

### 賛助会員

(一財)京都工場保健会

会長 丸中 良典

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町67  
TEL.075-823-0528 FAX.075-823-0527  
環境測定、労働衛生コンサルタント事業  
健康診断(施設、巡回)、保健指導、人間ドック、メンタルヘルスなど

### K.I.G

## ゴルフ同好会 (KIG) だより

### ▶令和6年度第1回例会(第245回例会)結果

と き: 令和6年6月13日(木)

と ころ: 城陽カントリー倶楽部

参加者: 18名(内 シニア7名)

優 勝 古澤 志津夫氏 (三幸総研(株))

準優勝 木下 豊氏 (株)エクザム

3 位 山分 芳造氏 (山分物産(株))

B G 賞 古澤 志津夫氏 (三幸総研(株))

### 事務局長交代のお知らせ

6月11日付で、西岡誠司(前事務局次長)が新事務局長に就任いたしましたのでお知らせいたします。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、前任の金井進は同日付で審議役に就任しており、引き続き本会事務局で勤務しています。

## 京都信用金庫の取組を紹介!

京 信 の い ち お し

# ICHIOSHI

コミュニティ・バンク京信

京信について  
もっと深く!  
もっと詳しく!



READ NOW



京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地  
「コミュニティ・バンク京信」は京都信用金庫のブランドネームです

## 京都工業会 ニュース No.419

発行 2024年7月25日

公益社団法人 京都工業会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地  
京都経済センター 6階

TEL.075(353)0061 FAX.075(353)0065

URL: <http://www.kyokogyo.or.jp>

E-mail: [info@kyokogyo.or.jp](mailto:info@kyokogyo.or.jp)

